



やまがた 議会だより

29号

平成22年8月1日発行

発行：山県市議会
編集：議会報編集委員会

〒501-2192
岐阜県山県市高木1000番地1
編集：議会報編集委員会
Tel. 0581 (22) 6840
Fax. 0581 (22) 6852
E-mail gikai@city.gifu-yamagata.lg.jp



全国豊かな海づくり大会サテライト行事（三田又川において錦鯉の放流）

目 次

第2回定例会	P2
第2回臨時会	P2
常任委員会報告	P3・4
第3回（9月）定例会予定	P4
所管事務調査	P5・6
一般質問	P7～10
議員セミナー報告	P11
議会活動日誌	P12

第2回 定例会・第2回臨時会

平成22年第2回定例会を6月10日から6月30日までの21日間の会期で行いました。

10日には、市長より上程された報告案件3件・条例案件1件・予算案件2件の提案説明があり、14日は総務文教委員会、15日は産業建設委員会、16日は厚生委員会の所管事務調査を行いました。21日には質疑、条例案件1件・予算案件1件の追加があり、その後それぞれ所管の委員会に付託され、22日に総務文

教委員会、23日に産業建設委員会、24日に厚生委員会を開催し、慎重に審議をしました。28日は8名の議員が市政について一般質問を行い、30日には、付託案件に対する委員長の報告・質疑・討論・採決、続いて議員派遣の議決をして閉会しました。また、平成22年第2回臨時会を5月12日に開催し、専決処分案件3件・人事案件4件・予算案件1件の議決と議会の人事を行いました。議決結果は次のとおりです。

第2回定例会の議決結果

種 別	議 案 名	委員長報告	結 果	採決状況
報告案件	平成21年度山県市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について			
	平成21年度山県市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について			
	山県市土地開発公社経営状況について			
条例案件	山県市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	可決	全会一致
	山県市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	可決	賛成多数
予算案件	平成22年度山県市一般会計補正予算（第2号）	可決	可決	全会一致
	平成22年度山県市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	可決	全会一致
	平成22年度山県市一般会計補正予算（第3号）	可決	可決	賛成多数

第2回臨時会の議決結果

種 別	議 案 名	委員長報告	結 果	採決状況
専決処分案件	山県市税条例の一部を改正する条例の専決処分について		承認	全会一致
	山県市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について		承認	賛成多数
	山県市過疎地域の固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について		承認	全会一致
人事案件	山県市高富財産区管理委員の選任同意について		同意	全会一致
	山県市高富財産区管理委員の選任同意について		同意	全会一致
	山県市高富財産区管理委員の選任同意について		同意	全会一致
	山県市監査委員の選任同意について		同意	全会一致
予算案件	平成22年度山県市一般会計補正予算（第1号）		可決	全会一致

常任委員会報告

総務文教委員会

一 付託案件について

議第四十二号

山県市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について

主な質疑

議第四十二号では

Q 早出、遅出勤務について、この条例とは別に市の規定、規則というものがあるか。

A 規則はございます。規則では、様式等事務的なものを定めています。

Q 早出、遅出をする場合、時間の許容範囲、上限はあるのか。

A 上限の規定という決め方ではなく、早出、遅出のパターンによる勤務時間の範囲が決められています。

Q 残業時間の基準と職員の平均的残業時間数は。

A 給料の七％以内、時間数にする
と月間二十時間程度、職員の管理
部分では六十時間以上はしないこ
とになっています。平均残業時間は、

夜会議が多い生涯学習関係、スポ
ーツ関係、税務関係の申告時期等、
特定の部署は比較的多いが、七％
以内に収まっています。

採決の結果、全議案とも全会一
致で、原案通り可決すべきと決定
しました。

産業建設委員会

一 付託案件について

議第四十三号

平成二十二年山県市一般会計補
正予算（第二号）（産業建設関係）
議第四十六号

平成二十二年山県市一般会計補
正予算（第三号）（産業建設関係）

主な質疑

議第四十三号では

Q 元気な園芸特産地域育成対策事
業費補助金は、JAから支援をう

け枝豆等の栽培を行ってみえるが、
この事業と同じか。また、栽培事
業面積はどれだけか。

A 補助事業団体は、「JAぎふ」
となりますので同じです。地域的
には高富・梅原・藤倉で、合わせ
て栽培事業面積は、六千四百七十
七平方メートルとなります。

Q 佐賀南山公園周辺整備工事の内
容は。

A 土工事、フェンスの撤去及び排
水路工事、植栽等を予定しています。

議第四十六号では

Q 口蹄疫対策の補正予算の内訳と
積算根拠は。

A 市内の畜産業者は十三戸ござい
ます。

消毒液、消石灰、これを配布する
予定にしています。あとは、オー
バーブーツ、防護服、マスク、長靴
手袋使い捨てで、百人分予定して
います。

Q 林道の災害復旧工法は。

A 災害復旧は原則、原形復旧とな
っており、法枠工法で計上してい
ます。

Q 林道美山線にどれだけのお金
をかけ、利用は。

A 完了延長は二千二百九メート
ル、完了事業費は二十三億八千四
百三十五万八千五百七十五円でご
ざいます。利用については、造林・
間伐・枝打ち等、木材の搬出及び
アクセス道路としての目的を持っ
ています。

Q 今後、林道美山線で災害が発生
した場合の対応は。

A 完了分については、山県市に移
管されていますので、市で維持管
理していく事となります。

採決の結果、全議案とも全会一
致で、原案通り可決すべきと決定
しました。

厚生委員会

一 付託案件について

議第四十三号

平成二十二年山県市一般会計補正予算（第二号）（厚生関係）

議第四十四号

平成二十二年山県市介護保険特別会計補正予算（第一号）

議第四十五号

山県市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

主な質疑

議第四十三号では

Q 美山老人福祉センター防水改修工事の内容は。

A 築後二十六年が経過し、四月頃から雨漏りが激しく、屋根の防水工事を行うものです。

議第四十四号では

Q 高額医療・高額介護費の限度額は。

A 七十歳未満の方で、上位所得者は年間百二十六万円、一般は六十

七万円、住民税非課税世帯は三十四万円、七十から七十四歳の方と七十五歳以上の後期高齢者医療加入者の方で、現役並所得者は六十七万円、一般は五十六万円、低所得者（一）は三十一万円、低所得者（二）は十九万円となります。

議第四十五号では

Q 国民健康保険税の値上げの率と税額は。

A 平均十五・八六パーセント、一人当たり十一万四千六百五十六円になります。

Q 国の方針の所得の高い人から多く徴収して維持することに逆行するが。

A 国保加入者全員の方から応分の負担を頂くことになります。

Q 基金は残さなくてもよいのか。

A 法律の定めはないが、通達で残すよう指導され、好ましい基金の額は、医療費の二ヶ月相当分です。

Q 値上げされれば、滞納する人が増加することが懸念されるが、周知と対応は。

A ホームページ、広報、窓口等で値上げの周知を行い、滞納に付いては、徴収対策室と連携して滞納整理に努力します。

採決の結果、議第四十四号については全会一致で、議第四十三号、議第四十五号については、賛成多数で、原案の通り可決すべきと決定しました



平成22年度第3回（9月）議会定例会予定

月	日	曜日	会 議	内 容
9	6	月	本会議	提案説明
	13	月	本会議	質疑
	14	火	総務文教委員会	付託案件審査
	15	水	産業建設委員会	付託案件審査
	16	木	厚生委員会	付託案件審査
	21	火	本会議	一般質問

月	日	曜日	会 議	内 容
9	22	水	本会議	一般質問
	24	金	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決

会議は原則午前10時より開会します。
傍聴の受付は住所・氏名のご記入だけです。お気軽に傍聴にお越し下さい。

所管事務調査報告

各常任委員会の所管する今年度事業等を調査するため、所管事務調査を行いましたので、その報告をまとめました。

総務委員会（六月十四日）

伊自良北小学校経営等について

・学校の教育目標
かしこくて あたたくくて たくましい子



伊自良北小学校授業風景

本年度、力を入れている取り組みは、地域ぐるみでの挨拶運動、十六拍子の発信、保護者との給食懇談会である。平成二十一年度修了式から、中間の節目として、「中学卒業式」を位置付け、高学年となる四年生を対象として「中学

年修了証書」を渡している、等の学校経営方針について、校長より説明を受けた。質疑の中では、土曜日の使い方については、総合学習でなく地域の取り組みに当てているとの説明を受けた。その後各クラスの授業風景を視察した。

いわ桜小学校経営等について

・学校の教育目標

願いに向かって根気強くやりぬく子
やさしく かしく たくましく

本年度、力を入れている取り組みは、確かな学力づくり、温かい心づくり、健やかな体づくりである。児童数は統合時、百四十名いたが、現在は六十九名と激減しており、平成二十四年度には複式学級が見込まれている等の説明を受けた。

総合学習において、コラボレーター協力による舟伏山登山、五、六年生によるいわ桜を育て、山に返す学習などは、今の子供たちに一番大切な体験学習であると思った。その後各クラスの授業風景を視察した。

大桑小学校経営等について

・学校の教育目標

自ら学び 仲間とともに 創り出す子

本年度、力を入れている取り組みは、自ら学び（自立力）仲間とともに（共生力）創り出す児童（自己表現力）の育成である。また、「地

域社会人としての基礎・基本」の教育を大切にする学校をめざし、教育活動の実践を図っている等の説明を受けた。その後各クラスの授業風景を視察した。

循環バス視察

循環バス乾線の実状を視察した。当日は乾地区の合同ふれあいサロンが谷合で行われ、四十名程の乗客があった。

自主放送番組等について

有線テレビ局長より放送番組及び放送企画番組等について説明を受けた。その後質疑の中で有線テレビの今後についての対応策は、①市単独で設備投資を行い、自主番組を継続する。②CCN（株）に委託する。③CCN（株）の番組を放送する。④市の自主放送は廃止する。の四通りがあり、現在有線テレビ放送運営審議会の答申を待っているとの説明を受けた。質疑終了後、有線テレビ局の設備を視察した。

住宅火災警報器設置状況について

消防本部予防課において、住宅火災警報器の機種、設置場所、義務化時期、価格等の説明を受けた。その後、取り付け位置、連動式の感知距離、市内の普及率等の質疑応答の後、救急司令センターの対応状況を視察した。

産業建設委員会（六月十五日）

市営住宅サンセイス美山

平成五年建設の住宅で、雨漏りや外壁のクラックなどが発生。昨年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金を受け実施された屋根改修や外壁改修を視察した。

にしむげ公園

西武芸地区初の公園として新設された。事業費約九百六十万円、総面積千八百四十四平方メートル、周囲にはヒメイワダレソウが植栽された。清掃等の維持管理は、西武芸の自治会が実施する予定である。

国道四一八号（中洞工区）

昨年度工事が完了した中洞地内と、富永畑野地内のバイパス予定工区を視察した。

はじかみ公衆トイレ

古城山への登山者のためのトイレが新設された。木造平屋建、浄化槽七人槽。受水槽は六トンで、二カ月に一回市職員が給水を実施。清掃管理は、地元の財産区の方が受け持つておられる。



林道日永線

日永西部地区と日永東地区を結ぶ林道で、総延長千八百四十四メートル、幅員三・四メートル。本年度事業完了。シカやイノシシの被害防止柵の工夫も施されていた。

農業法人による野菜作り

上野平の土地十一町歩ほどを借り、野菜を栽培。一帯には、キャベツとニンジンが青々と生育していた。休耕地の一つの利用法を目的とした思いだった。

林道美山線災害復旧現場

今月五月の豪雨により被災した葛原地内の土砂崩れ現場を視察。被災延長三十八メートルを今年度中に復旧工事の予定である。



葛原地内土砂崩れ現場視察

伊自良川改修現場

伊自良川の清水橋下流域の掘削と、護岸工事が予定されている小倉地域内を視察。昨年度の繰越事業を施行の予定である。

鳥羽川改修現場

今年度の工事予定の、橋梁上部工架設、護岸工、逆水樋門本体工の工事内容と場所の説明を受ける。国体開催までに新川大橋を架橋し、供用開始予定である。

市道二〇九八号線

国道二五六号高富バイパスの整備に伴う、市役所北側交差点の市道取り付け部における橋梁及び道路改良の予定現場を視察。昨年度に橋梁工事完了。今年度国道への取り付け工事施工予定である。

厚生委員会(六月十六日)

ペットボトルリサイクルセンター



ペットボトルのリサイクル

委託事業者より収集状況と処理

の説明を受け、施設の視察をした。プラスチック等の混入に注意をしてほしい。ペットボトルのラベルを取ってほしいとの要望があった。

カン・ビンリサイクルセンター

委託事業者より収集状況と処理の説明を受け、施設の視察をした。蓋付きのカンは蓋をとって出してほしいとの要望があった。

岐北衛生センター

事務局長より岐北衛生施設利用組合の経営と運営の概要の説明を受け、施設の視察をした。新たに汚泥をクリーンセンターへ搬出するための施設整備と老朽化している箇所の修繕などがあった。

クリーンセンター

委託事業者よりセンターの概要及び取り組み等について説明を受け、施設の視察をした。十八トン二炉、二十四時間運転で、事業開始以来順調とのことでした。また、市内の小学校より見学が多くあるとのことであった。

伊自良老人福祉センター

委託事業者の社会福祉協議会の事務局長より概要及び取り組み等について説明を受け、施設の視察をした。高齢者の入浴サービスや施設の貸し出しのほか、サービスを増やして行きたいとのことであ

った。

高富児童館

館長より児童館の運営状況等の説明を受け、館内の視察をした。新しくなり、多世代間の交流・地域ボランティアの方々の参加も増加しているとのことであった。

高富保育園

園長より、保育園の概要と運営状況の説明を受け、質疑応答をした。耐震工事が終わり、施設が充実し、地域の方々と世代間交流も実施されていた。



高富保育園

高富浄水場

水道課長より、施設の概要と運営状況の説明を受け、施設の視察をした。高富浄水場は、高富・富岡への配水を実施しているとのことであった。

8名の議員が登壇し、市政を問う 一人45分の中で質問しました

口蹄疫対策について

横山哲夫 議員

問

本年四月二十日に宮崎県都農町で肉用牛三頭の口蹄疫感染が確認されて以来、爆発的な広がりを見せて、日本中を震撼させました。山県市でも六月四日に対策本部を設置し、防疫対策を取られました。市内にも多くの畜産農家があり、大変心配されております。そこで、農家の地区別・畜種別頭数とこれまでの方針の内容と、今後予測される口蹄疫感染について、殺処分した場合の埋却場所の確保の状況、今後の防疫対策、市民への周知について伺います。

答

市内の畜産農家数・頭数は、高富地区に酪農・肉牛農家一戸で二頭、養豚農家一戸で一九〇〇頭、山羊一戸で一頭、伊自良地区に酪農・肉牛飼養農家五戸で四一〇頭、養豚農家二戸で一六六二頭、山羊飼養農家三戸で十二頭、美山地区に酪農・肉牛農家四戸で一一二頭、養豚農家一戸で二九二〇頭、山羊飼養農家二戸で二十二頭、市内の合計は、

酪農・肉牛農家十戸で五二四頭、養豚農家四戸で六四八二頭、山羊飼養農家六戸で三十五頭が飼育されています。

これまでの対策は、五月二十四日に畜産農家へ偶蹄類の飼養頭数並びに口蹄疫の症状に関し、飼養家畜の異常の有無、消毒の実施、消毒薬の確保状況及び埋却場所の確保状況について、聞き取り調査をしました。その結果、異常はありませんでした。また、埋却場所は六戸の農家が確保されておりました。

今後は、口蹄疫対策特別措置法により、国が埋却場所を確保し、まん延防止対策をとることとなりました。今後の防疫対策は、消石灰、消毒液を配布するよう、今定例会に補正予算を提案しております。

また、県防疫対策本部と連携を図り、初動体制に努めてまいります。なお、市民への周知は、必要に応じ本市の畜産についての理解と、口蹄疫の情報提供を図ってまいりたいと考えております。(産業建設部長)

通行量増加に伴う伊自良地域の安全対策について

宮田軍作 議員

問

平井坂トンネル開通に伴い、自動車の通行量が年々増加し活気が蘇ってきましたが、反面、主要道路における歩道も未整備であります。通行量の多い時間帯は、登下校の時間帯と重なり、歩行者等の安全での不安の声を多く聞くようになりました。市の対応についてお尋ねします。

答

市は、岐阜土木事務所と年度当初に行う事業調整会議や、毎年秋に行われる山県市内事業要望

箇所視察の折りに、本路線の歩道整備を要望しておりますが、事故履歴が多い路線、バリアフリー法の重点地区、安心歩行エリア指定地区での歩道整備を優先しており、本路線の歩道整備は、現時点では考えていないということです。また、自治会要望、道路パトロール及び市民からの情報を、随時岐阜土木事務所に報告し、道路除草、樹木の枝の伐採を行っていただいております。

(産業建設部長)

ぎふ清流国体及びぎふ清流大会山県市開催について

問

第六十七回ぎふ清流国体及びぎふ清流大会の開催を契機に、より多くの市民に、本大会の目的や意義を十分理解してもらい、市民との協働により、市民主役の山県市ならではの魅力ある充実した大会となることを市民は願っております。市の考えをお尋ねします。

答

両大会の開催にあたり、全国から訪れる方々に、「来てよかった」と思っていただけよう、市民協働による大会運営を目指し、六つの市民運動「おもてなし、ふる

さとじまん、週一スポーツ運動、ミナモ体操・ミナモダンス、美化運動、花いっぱい運動」に取り組んでおります。中でも、本年度は大会運営を支えていただく「市民ボランティア」を募集してまいります。本大会まで後二年となり、開催気運を高め、市民の理解と協力を得られるように努めてまいります。

(総務部長)

後期基本計画(便利で快適なまちづくり)について

石神 真 議員

問

本年三月に、豊かな自然と活力ある都市が調和した安らかで快適な二十一世紀の住みよいまちづくりを目指した、後期基本計画が策定されました。その中の施策で、便利で快適なまちづくりの現状と課題については、住宅、住環境の整備の中で、本市の持ち家率は、ほぼ九割で全国平均を大きく上回っているとあります。特に、岐阜市に近い南部地域では、住宅の増加傾向が見られます。美山地域においては、道路等のインフラは徐々に整備されてきましたが、少子化が進む中、高齢者も多く、良質な住環境が形成されているとは言えません。これらの地域における生活環境の整備を、計画的に実施するため、必要な施策を推進しますと有りますが、この施策について、具体的には、どの様に着手して行くのか。

答

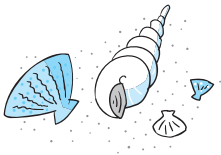
総合計画の後期基本計画は、基本構想における基本目標を受けて、その実現に必要な基本的な施策を分野別に体系化したものです。美山地域の住環境整備については、これまでも交通基盤の整備のため、過疎債などの有利な起債を活用した市道や林道の整備を進めるとともに、

自主運行バスの乾線を開設するなど、生活交通の確保を図ってまいりました。

今後は、後期基本計画に基づき、本年度より三年間の計画を表す実施計画を策定し、前年度の実績などを検証しつつ、実効性の確保に努めていきます。

さらに、平成二十八年三月三十一日まで期限延長された過疎地域自立促進特別措置法では、これまでのハード事業に加え、地域医療、住民に身近な生活交通の確保、集落の維持及び地域の活性化などの住民の安全・安心な暮らしの確保を図るため、過疎債の対象がソフト事業にまで拡充されており、この有利な制度を活用するため、過疎自立促進計画を策定し、この計画の中で、ハード事業は勿論のこと、住環境整備につながるソフト事業についても十分に検討してまいります。

(総務部長)



山県市総合体育館の施設改良について

後藤利瑛 議員

問

総合体育館の施設利用者は、山県市合併以来多くの市民や近隣の人達が利用し、そのために一部の施設改良が必要であります。

第一に、トレーニングルームの改良であります。トレーニングルームは非常に手狭になり、選手控室を利用する状況であります。管理面からいってもワンルームに集中させる事が良いと考え、早期改良を望みます。第二に、館内では各種団体の競技が行われます。特にバレーボール大会などは、約四百席ある観客席が常に満席となり、増設が必要であります。反対側の東窓際には、十分なスペースがあります。立見を解除するためにも、増設を強く要望します。

答

山県市総合体育館は平成八年に完成し、総合的なスポーツの場として、バレーボール・バスケットボール・バトミントン等、各種大会及び市民の体力づくりに多くの方々が利用されています。

総合体育館のトレーニングルームは、利用者が年々増加し、平成二十一年度利用実績では九千九百七十二人で、一日当たり二十八・七人の方の利用があり、特に休日や夜間の利用が多く、部屋が手狭で利用者に不

便をかけているため、臨時的に選手控え室を第二トレーニングルームとして現在使用している状況です。

今後、市民の健康増進のため、市の財政状況の厳しい折ですが、利用者の要望にこたえるべきトレーニングルームの増築を現在検討しているところです。

また、観客席の増設については、現在固定席が三百八十五席で、二階ホールの立ち見を会わせて、約五百人程度が観覧することが出来ます。平成二十四年国体開催時には、アリーナ内に特設の観客席を設ける計画となっております。

現在のアリーナの面積を確保し、現状の施設内での観客席の増設は困難であるため、グラウンド側の駐車場に増築する方法ですが、体育館東面の壁・窓等大規模な改修となり、耐震工事等構造上多額の工事がかかり、現在は難しい状況ですが、既設の管理用通路を利用しての観客席の設置を関係機関・団体とも協議し検討してまいります。

(教員委員会事務局長)

二〇二二年岐阜清流国体の準備と計画について

杉山正樹 議員

問

国体まで後二年となりましたが、開催に向けての会場周辺道路整備について・会場の施設整備・大会運営諸経費等それぞれの事業計画内容と予算についてお尋ねいたします。従って、国体開催の為の総予算はどれだけか、市の実質負担金はいくら必要となりますか。馬術競技場の跡地利用の事もありますので、できるだけ後有効に利用できる施設整備を考えていただきたい。

答

会場周辺の道路整備事業については、馬術競技場関連では幅員改良、舗装等の工事を行い、予算額は七千二百万円（市負担額三千四百七十六万円）となっており、バレーボール競技場関連では舗装工事を行い、予算額は千七十万円（市の負担はなし）となっております。

会場の施設整備事業につきましては、馬術競技場整備として整地、舗装、仮設施設整備等を行い、予算額は五億五千万円で、全県県の補助となる見込みです。バレーボール競技場整備としては総合体育館床面研磨等を行い、予算額は一千万円（市負担額五百万円）の見込みです。

また、リハーサル大会及び本大会の運営経費といたしまして、馬術競



技会が一億四千万円（市負担額九千万円）、バレーボール競技会が四千七百万円（市負担額二千七百万円）の見込みです。このほか、市実行委員会の独自事業として、視察調査、広報啓発、歓迎装飾、市民運動等を行い、予算額は二千百万円の見込みです。

このため、国体関連の予算総額は八億五千七百七十万円となり、市負担総額は一億七千七百七十六万円と試算しております。

馬術競技会の跡地利用につきましては、福祉と健康などをテーマとした公園整備を検討してまいります。

（総務部長・産業建設部長）

住宅の耐震化について

尾関律子 議員

問

住宅の耐震診断は無料ですが、耐震補強工事には自己負担が高額になるためか、補助制度の活用が少ない状況です。補助制度に簡易な工法の工事や、住宅の中に設置する安価な耐震シェルターなどを加える考えは。

答

現時点で、耐震診断九十六件、耐震補強工事七件です。簡易な改修への補助は、平成二十一年より高齢者のみや障がい者が居住、ま

た、多雪地域等の条件つきですが、補助要件を緩和して、より安い費用で工事ができるよう制度の拡充を行っております。

耐震シェルターへの補助は、本市単独での実施は考えておりませんが、今後は県に対してさらなる補助制度の拡充を要望し、より利用しやすい補助制度とすることで、本市の住宅の耐震化を推進したいと考えております。

（産業建設部長）

自主財源の確保について

問

財政が厳しいなか、広告事業が徐々に推進されていますが、経費削減とともに自主財源の確保も重要です。行政財産の貸し出しや、市の財産・市の土地の公売、また、山県市の特色・特産等のPRの考えは。

答

自主財源の確保については、「広報やまがた」への広告や「山県市ホームページ」へのバナー広告の掲載を行っております。普通財産の公売についても、平成二十一

年度には、笹賀の旧教職員住宅などを売却し、千三百万円ほどの収入がありました。山県市の特色・特産品のPRについては、観光協会などの皆様により積極的に行っていたいただいており、ニンニクを使用したハンバーガーをコンビニとコラボするなど特産品づくり、話題づくりに努めています。今後も、効果的なPRを進めてまいります。

（総務部長）

信号機の設置について

上野欣也 議員

問 洞田地区の信号機の設置は過去要望も出されたが、交通量等の関係で見送られた。交通状況も変化し、危険な交差点状況で住民の不安は高い。是非設置を願いたい。

答 信号機は設置されておりませんが、歩行者の安全確保のため、

め、①交差点角にガードパイプの設置②回転灯の設置③交差点中央に自発光錐の設置等を行っております。今後、地元のご意見を伺いながら、県公安委員会へ引き続き要望してまいります。

(総務部長)

学校給食費の滞納について

問 小中学校の給食費の滞納が問題となっている。市は滞納があるか。あれば、教育的にも子ども手当から差引き支給しては。

答 給食費の滞納は若干あります。が、教職員の対応により少し

づつ納付されています。子ども手当の支給からの充当については、給食費の引落し口座と同一の口座とするよう保護者に協力を求め、学校給食の意義や役割について保護者の理解と協力を求めてまいります。

(教育長)

細菌性髄膜炎の予防について

問 患者の多くは五歳までの乳幼児です。重い後遺症がみられる怖い病気です。二種類のワクチンで八〇九割予防できるそうです。定期接種の必要性和ワクチンの一部助成等は始められないか。

答 ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンは、現在九十カ

国以上の国で定期予防接種となっており、細菌性髄膜炎の予防には有効であるといわれております。ワクチン接種の公費助成につきましては、子育て支援として総合的に検討した上で、判断してまいりたいと考えております。

(保健福祉部長)

将来のテレビは市民が決めるべき

寺町知正 議員

問 来年デジタルに変わる際、市のテレビの自主番組も大きくかわる。「テレビ」という性質から、自主放送をどうするかは、市民の意見で決定すべきだ。

答 有線テレビの自主放送番組の今後につきましては、市民の

代表からなる山県市有線テレビ放送施設管理運営審議会へ諮問し、六月十八日に答申をいただいております。今後、これを踏まえた市としての案を議会において論議いただき、方針を決定していきたいと考えております。

(総務部長)

市の後期基本計画はズサン

問 市総合計画の後期基本計画が作られた。が、市民意向調査には問題があり、男女平等施策も法に反し、「四行」もの長文がそっくり別のところでも使われている。

答 市民意向調査は、前期基本計画策定時と今回の比較を行う

ためのもので、何ら問題はありませんし、後期基本計画の施策等の表現についても、男女平等施策等に反するものではありません。また、同様の記述があるのは、それぞれの施策の展開の中で同様に重要と認識しているためです。

(副市長)

国保税の大幅引き上げ問題

問 国保は今では、加入者に社会的弱者が多く、福祉の根幹を支えている。税の大幅な引き上げの理由は何か。負担増対策は何をしたか。滞納増にならないか。

答 税の大幅な引き上げの理由は、医療需要の増大や医療技術の高度化による医療給付費の増加や不況による国保税の収入の減少などにより、健全な国保運営ができなくな

ったためで、合併後据え置きだった保険税率を、一人当たり年平均約十五％引き上げる事となりました。負担増対策は、所得の低い方は、応益分の増加だけになり、所得のある方の負担が多くなるので、応益分の按分を多少ですが多くして、中間の所得の方に配慮しました。滞納増にならないかは、徴収対策室と連携をとり、収納率向上に取り組んでまいります。

(市民環境部長)

二十二年度 第一回

市議会議員セミナー報告

平成二十二年度第一回市町村議会議員セミナーが、四月八日・九日、大津市の全国市町村国際文化研修所で開催され、市議会議員全員が参加しました。その概要を報告します。

最初に、「地方自治を取り巻く現状と方向性」と題して、辻塚也氏（一橋大学教授）が講演され、課題一から八までを解りやすく説明された。

課題一「少子高齢化の進展」

史上かつてないスピードで高齢化していく中、子育て支援と高齢者にどう対処していくのか二大施策が大きな課題である。

課題二「地方分権改革と三位一体改革」

二〇〇〇年の「地方分権一括法」によって、機関委任事務制度が廃止され、地方で行う・見ていく、現場に近い所で費用対効果が上がるよう事業を推進していくことになった。

課題三「地方改革」

職員を減らすか否かは、地方が自主的に決めていく。自治体は人員を減らすのと継続し給与水準を考える時代。

課題四「民主党のマニフェスト」

事務事業の権限と財源を移譲し、地域主権を確立する。ひも付き補助金を廃止し、一括交付金として交付する。

課題五「地域主権改革」

原口プランでは緑の分権改革・定住自立圏構想・過疎地域等の自立と活性化支援の三つが柱となっている。

課題六「義務づけ・枠付け」の見直し

全体の見直し数六十三項目・百二十一条項。

課題七「定住自立圏構想」

市町村間の役割分担による生活機能の強化を目指す。

質疑の内容

質問「人口が減る中行政のサービスとしてはボランティアの参入を考えたいく方向は？」

回答「自分たちがやりたくないからボランティアを、は失敗する。楽しいからみんななどという考え方で進めるのがポイント。」

次に、「地方財政の現状と方向性」と題し神野直彦氏（東京大学名誉教授）が講演。

地方自治体には、現在行政任務として課税権が与えられていない。これまで国が決定し地方に指令してきた。外壁として機関委任事務制度があり、すべてがこれを守るようにで

きていた。廃止されたが、まだ多くの課題が残っている。原口プランは、地方の自主財源の充実と強化が基本的な考え方である。補助金を一括交付金にして、自由に使える財源を出す。

補助金は、少なく数えても五百ある。今後一括交付金をどうデザイン化して解りやすくするかが大きな課題となる。お金を配るか、サービスを配るか、社会的支出の国際比較から、大きな政府で行くのか、小さな政府に戻るのか。アメリカ型アングロサクソンをモデルにするのか、ドイツ型ヨーロッパ大陸をモデルにするのか、スウェーデン型スカンジナビアモデルでいくのか、日本型でいくのか、四つある。これからは新しい産業に変えていく、サービス給付に移していく。ケアーや対人サービス、教育の充実、新しい産業にチャレンジしていく時代である。

質疑の内容

質問「一括交付金の中身が骨抜きになる恐れが。どう関わってもらえるのか。」

回答「一括交付金の概念を使えば、五百残っている数は減らせる。各省市は気づいていないが、画期的な交付金になる。一括交付金の意義と限界を理解していただきたい。」

第二日は、「地方議会改革の現状と方向性」をテーマにシンポジウムが行われた。

木村政司氏が、会津若松市議会の

議会改革の取り組みについて説明された。

平成十九年五月の議長選挙で正副議長候補者が選挙公約として議会改革を掲げ当選したのが始まり。平成二十年六月に議会基本条例を採択した。議会の将来像として、監視機能プラス政策立案機能、市民との協働型を構想。次に、橋場利勝氏が、北海道栗山町議会の議会基本条例の誕生と展開を説明された。

二〇〇〇年の地方分権一括法の施行に伴い地方議会の役割が極めて広範囲にわたり責任の度合いが重くなった。自己決定が強まる中の方策を考え、議会改革を進めてきた。議会基本条例の制定に向け、「議会報告会を開く」、「請願や陳情を住民の政策提案として位置付ける」、「議員同士の自由討議を大事にする」を三本柱にして取り組んだ。

続いて、江藤俊昭氏（山梨学院大教授）が問題提起をされた。

改革は何のために行うか、住民の社会福祉のためである。改革は住民と一緒に歩んでいく。住民が議会を育てると共に、議会が住民を育てる。会津若松市は議会から政策をつくっていく・栗山町は町の総合計画を議会が出していく、ここにポイントがある。

改革は法案ができてから進めましようとなると遅れる。今から改革をやって下さいとメッセージをおくりたい。

（文責 上野欣也）

◆ 議会活動日誌 ◆

4月

6日(火) 議会報編集委員会

8日(木)・9日(金)

市町村議会議員セミナー

15日(木) 議会報編集委員会

28日(水) 議会運営委員会

厚生委員会



乗馬体験でのミナモ体操

5月

12日(水) 第2回臨時会

28日(金) 行財政改革推進特別委員会

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会

山県市実行委員会常任委員会・総会

30日(日) 山県市消防操法大会

31日(月) 東海環状自動車道及び幹線道路

整備促進特別委員会

山県市青少年育成市民会議総会

6月

1日(火) 議会運営委員会

2日(水) 全員協議会・議会報編集委員会

10日(火) 第2回定例会本会議(提案説明)

11日(水) 議会運営委員会

14日(月) 総務文教委員会

15日(火) 産業建設委員会

16日(水) 厚生委員会

17日(木) 議会運営委員会

21日(月) 本会議(質疑)

22日(火) 総務文教委員会

23日(水) 産業建設委員会

24日(木) 厚生委員会

27日(日) 山県市少年の主張大会

28日(月) 本会議(一般質問)

30日(水) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)
議会運営委員会



編集委員

編集後記

山県市では、今年度総務部に国体推進課を設け平成二十四年の国体開催に向けて着々と準備を進めているところです。「ぎふ清流国体」では、山県市総合体育館で少年男子のバレーボール、大桑の特設馬術競技場で馬場馬術競技が行われることになっております。

また、国体に関連して身体に障がいのある選手が競技する「ぎふ清流大会」では、山県市総合体育館でバレーボールを行うことになっておりますし、事前にいろいろなイベントも計画されており、この国体を通して山県市のスポーツが益々盛んになる事を祈っております。

さて、この度の改選により私たち六名が編集委員としてお世話になることになりました皆様方に親しまれる議会だよりづくりに努力してまいりますので宜しく願います。

(文責 谷村松男)

編集委員

委員長 谷村 松男
副委員長 村瀬 伊織
委員 上野 欣也
委員 尾関 律子
委員 宮田 軍作
委員 久保田 均